

As the surface pattern of this new species is quite unique, there are no similar species of *Xylotrechus* in Japan and adjacent regions.

This species name is denominated in honour of Mr. Masatoshi TAKAKUWA who is the collector of the interesting species.

Acknowledgements

The author is greatly indebted to Mr. Masatoshi TAKAKUWA who kindly gives the opportunity to study the valuable material and also to Mr. Hiroshi FUJITA for the preparation of the photograph accompanying the present paper.

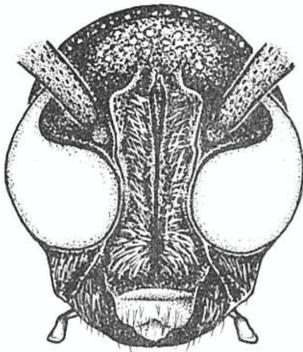


Fig. 2 Frons of *Xylotrechus takakuwai* sp. nov.

摘 要

新種 *Xylotrechus takakuwai* (ミイロトラカミキリ) の記載 (Figs. 1, 2)。本種は1976年6月23日、小笠原諸島母島の乳房山山頂 (標高約400m) で、高桑正敏氏によって採集された1舎が知られているのみである。前胸部に黄色斑、上翅は基部が鮮やかな赤褐色であるのに加えて、3つの黄色斑をもっており、日本およびその近隣からは近縁な種が見当たらない。

前頭には、きわめて明瞭な角稜が認められ (Fig. 2)、*Xylotrechus* 属に含まれる種である。

稿 KŌCHŪ 虫

コナガキマワリの記録

今坂 正一

コナガキマワリ *Strongylium helopioides* LEWIS は、1894年に G. LEWIS によって長崎産の標本を基に



記載された種であるが、中根猛彦(1972)¹⁾によると、その後の採集例は報告されていないようである。

筆者は長崎県雲仙岳において、枯枝(直径3~4 cm)のピーティングで本種を得ているので報告しておく。

I ex., 長崎県島原半島雲仙岳 (標高1,200m付近), 15. VI. 1976, 今坂採集

本種は、中根・益本 (1969)²⁾ のゴミムシダマシのリストではコナガキマワリという和名で、また、原色日本昆虫大図鑑1, 甲虫篇 (1963) ではヒサゴナガキマワリという和名で紹介されている。

体長6.4mm。暗褐色。触角基部、各足の脛・付節、前胸背前縁は赤みを帯び、頭胸背は密に点刻される。上翅は金銅光沢を有し、点刻列を具え、間室には微細点刻が散布している。大図鑑にも書かれているとおり、本種の外見は、*Misolampidius* (ヒサゴゴミムシダマシ属) の種によく似ている。

1) 中根猛彦 (1972) : 昆虫と自然, 7(7), p.18

fig. 8 d

2) 中根猛彦・益本仁雄 (1969) : 昆虫と自然, 4(9)

pp.32~34

(〒855 島原市白土町1064)

屋久島のキンオビハナノミの記録

高桑 正敏

キンオビハナノミ *Variimorda flavimana* (MARSEUL) は北海道、本州、四国、九州から記録されている。1976年、田尾美野留氏によって屋久島から本種が採集されたので新産地として報告する。